

問1 愛媛県において、米や野菜など他の農産物に比べて、みかんなどのかんきつ類を含む「果実」の生産が非常に盛んである理由として、地理的な環境の観点から最も適切な説明はどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。 | 2. 広大な平野を活用し、大規模な機械を導入することで効率的な生産が可能になったため。 | 3. 年間を通じて降水量が非常に多く、常に大量の水を必要とする果実の栽培に適しているため。 | 4. 涼冷な気候を活かして、他の地域では栽培が難しい高冷地野菜を生産しているため。 |
|---|---|---|---|

問2 山形県、京都府、広島県、和歌山県の4県の統計を比較した際、製造品出荷額が約8.5兆円と4県の中で突出して高く、かつ農業産出額の内訳において畜産が最大の金額（約461億円）を示している県はどこですか。（2016年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 山形県 | 2. 京都府 | 3. 広島県 | 4. 和歌山県 |
|--------|--------|--------|---------|

問3 鳥取県の農業について述べた次の文のうち、産出額の構成とその背景について説明したものとして正しいものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 干拓によって得られた広大な平地を利用した、大規模な稲作が中心となっている。 | 2. 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。 | 3. 瀬戸内海の温暖な気候と傾斜地を活かした、レモンやみかんなどの果実栽培が中心である。 | 4. 大都市に近い立地を活かし、キャベツやレタスなどの近郊農業が産出額の半分以上を占める。 |
|--|--|--|---|

問4 四国地方の愛媛県における農業産出額の構成には、他の都道府県と比べて際立った特徴があります。統計資料において、産出額全体の約3割を占め、愛媛県が全国有数の産地として知られている品目はどれですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 1. 米 | 2. 野菜 | 3. 果実 | 4. 畜産 |
|------|-------|-------|-------|

問5 中国地方に位置する県のうち、2007年に世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡があり、鳥取県・岡山県・広島県・島根県の4県の中では最も人口が少ない県の県庁所在地はどこですか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 松江市 | 2. 鳥取市 | 3. 岡山市 | 4. 広島市 |
|--------|--------|--------|--------|

問6 岡山県から四国側への自動車による到達圏域の変化を調べた調査において、1985年時点と比較して、2011年時点では四国側のより広範囲の地域へ短時間で到達できるようになっています。このような変化が生じた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。 | 2. 1988年に青函トンネルが開通し、全国的な高速道路網の整備が完了したため。 | 3. 1998年に明石海峡大橋が開通し、徳島県から岡山県への移動が容易になったため。 | 4. 瀬戸内海沿岸の埋め立てが進み、四国との間の海上の距離が物理的に短くなったため。 |
|---|--|--|--|

問7 鳥取県の人口と世帯数の推移をまとめた統計資料において、総人口が減少している一方で、世帯数は増加傾向にあるという特徴が見られます。このような現象が起きている背景として最も適切な説明を、次の中から選びなさい。（2021年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|---|
| 1. 核家族化や高齢化が進み、一人暮らしや二人家族といった少人数世帯の割合が増えたため。 | 2. 県外からの大規模な移住が進んだ結果、5人以上の多人数世帯が急増したため。 | 3. 出生率が大幅に上昇したことで、一世帯あたりの子どもの数が増えたため。 | 4. 住宅不足を解消するために、複数の世帯が一つの住居に同居する形態が一般的になったため。 |
|--|---|---------------------------------------|---|

問8 中国地方の日本海側に位置する2つの県のうち、統計データにおいてみかんや肉用牛の生産割合が比較的低く、かき類などの水産物の生産が一定の割合を占める特徴を持つ県はどこですか。（2019年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 島根県 | 2. 鳥取県 | 3. 山口県 | 4. 広島県 |
|--------|--------|--------|--------|

問9 ある県の農業産出額の内訳をみると、総額約4409億円のうち、野菜が約1611億円と最も大きな割合を占めており、次いで畜産が約1340億円となっています。一方で果実は約111億円にとどまっています。この統計が示す高知県の農業的特徴について、正しい説明はどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている | 2. 高冷地の涼冷な気候を活かしてレタスなどの収穫時期を遅らせることで、野菜の産出額を高めている | 3. 大都市に近い立地を活かしてコマツナなどの鮮度が重要な野菜を生産し、産出額を高めている | 4. 広大な平野を利用した大規模な機械化により、米を主産物として野菜と組み合わせている |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。	愛媛県では瀬戸内海沿岸を中心に山地が海に迫っており、その急斜面を「段々畑」として利用しています。傾斜地は平地に比べて日当たりが良く、さらに水はけも良好であるため、甘くて質の良いかんきつ類の栽培に最適な環境となっています。
問2	答え 3 広島県	広島県は瀬戸内工業地域の中核に位置し、自動車工業や造船業、鉄鋼業などが盛んなため、製造品出荷額が非常に高いという特徴があります。農業面では、米の生産が盛んな山形県や果実の生産が盛んな和歌山県とは異なり、この4県の中では畜産の産出額が最も大きくなっています。
問3	答え 2 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。	鳥取県の農業産出額において、畜産は全体の58.1%を占める主要な部門です。これは、大山の周辺に広がる緩やかな傾斜地や広大な土地が、家畜の飼育や牧草地として適しているという地理的条件に基づいています。一方で、米（12.5%）、野菜（10.8%）、果実（7.9%）などの割合は畜産に比べると低くなっており、全国的に見ても畜産に特化した産出構造を持っているのが特徴です。
問4	答え 3 果実	愛媛県は瀬戸内海の温暖な気候や、水はけの良い傾斜地といった自然条件を活かしたかんきつ類の栽培が非常に盛んです。そのため、農業産出額の品目別割合を見ると、全国的に高い割合を占めやすい米や野菜ではなく、果実が約30%以上に達するという、全国的にも珍しい構成になっています。
問5	答え 1 松江市	石見銀山遺跡は島根県に位置しており、その島根県の県庁所在地は松江市です。島根県は中国地方の中でも日本海側に位置する「山陰」に含まれる県で、歴史的な遺産を持つ一方で、周辺の県と比較して人口規模が小さいという特徴があります。
問6	答え 1 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。	岡山県から四国側への自動車の移動時間が大幅に短縮されたのは、1988年の瀬戸大橋開通が最大の理由です。それ以前はフェリーによる海上輸送が中心であり、天候の影響を受けやすく時間もかかっていましたが、陸路（橋）で結ばれたことで24時間の安定した往来が可能となり、生活圈や経済圏が拡大しました。明石海峡大橋は兵庫県（神戸市）と淡路島を結ぶルートであるため、岡山県からの直接的な到達圏拡大の主因とは言えません。
問7	答え 1 核家族化や高齢化が進み、一人暮らしや二人家族といった少人数世帯の割合が増えたため。	鳥取県では、総人口が減少しているにもかかわらず世帯数が増加するという「世帯の細分化」が起きています。この背景には、高齢者の単身世帯（一人暮らし）や夫婦のみの世帯（二人家族）が増加し、かつて主流であった5人以上の多人数世帯が減少しているという家族構成の変化があります。人口が減っても、一世帯あたりの人数がそれ以上のペースで少なくなれば、世帯の総数は増えることとなります。
問8	答え 1 島根県	中国地方の日本海側、いわゆる山陰地方には島根県と鳥取県が並んでいます。島根県は、隣接する鳥取県と比較して農産物の構成が異なり、中海や宍道湖などでの水産資源の活用が特徴の一つとして挙げられます。
問9	答え 1 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている	高知県の農業は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を最大限に活用している点が最大の特徴です。統計データにおいて、果実よりも野菜の産出額が圧倒的に多いのは、ピーマンやなすなどの促成栽培が極めて盛んであるためです。同じ四国地方でも、愛媛県などは果実（かんきつ類）の割合が高くなるため、統計上の違いに注意が必要です。